

令和4年度 市民部の運営方針

部	市民部	部長	桐藤 英樹
理事	奥野 秀樹(にぎわい観光担当)		

【基本方針】

市民部では、「市役所の顔」となる窓口サービスをはじめ人権、環境など、市民生活に直結した業務を市民ニーズの把握に努めながら進めるとともに、産業の振興、地域資源の活用や観光資源の充実、そしてコミュニティ活動への支援等を行っています。

目標達成に向けまして、窓口サービスの充実を図るため、マイナンバーカード所有者の転入手続きのワンストップ化を進めるとともに、「おくやみコーナー」の利用を促進してまいります。

そして人権が常に尊重される地域社会の実現のため、人権行政基本方針・推進プランの改定に基づき、部落差別をはじめとする様々な人権課題の解消に向けて啓発や相談体制の充実、そして平和事業の推進に取り組んでまいります。

また、環境施策としてごみの分別、減量化及びリサイクルを促進するため、地域での集団回収の充実を図るとともに、プラスチック容器をはじめとした回収拠点を増設してまいります。

産業振興については、新型コロナウイルス感染症による事業者への影響が続いており、状況を注視しながら必要な支援を行うとともに、女性活躍の応援をはじめとした人材育成等にも努めてまいります。

さらに日本遺産を中心にプロモーションやコンテンツの充実により、交流人口・関係人口の増加やおもてなし環境の整備へと繋げていくとともに、防犯対策を一層推進するため、地域コミュニティと一体となって防犯灯のLED化や防犯カメラの設置を進め、安全で安心して暮らせるまちを目指します。

【重点目標】

1	目標	(5)	みんなでつくる暮らし続けられるまち	分野	市政運営	令和4年度 達成状況
	窓口サービスの充実					A
2	目標	(4)	やさしさと思いやりを育むまち	分野	人権・男女共同参画	令和4年度 達成状況
	部落差別をはじめとする様々な人権課題の解消に向けた周知・啓発の推進、相談体制の充実と平和事業の推進					A
3	目標	(2)	地域資源を活かした魅力あふれるまち	分野	生活環境	令和4年度 達成状況
	安心して暮らせる生活環境の形成【ごみの分別、減量及びリサイクルの促進】					B
4	目標	(2)	地域資源を活かした魅力あふれるまち	分野	商工業	令和4年度 達成状況
	女性活躍の応援に向けた民間事業者との連携による人材育成					A
5	目標	(2)	地域資源を活かした魅力あふれるまち	分野	観光	令和4年度 達成状況
	交流人口・関係人口の増加とおもてなし環境の整備					A
6	目標	(1)	安全で安心して健やかに暮らせるまち	分野	防犯	令和4年度 達成状況
	防犯対策の推進					B

【達成度について】

- A: 達成(設定した目標を達成することができた。100%)
- B: 概ね達成(概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満)
- C: 一部達成(目標の一部を達成できた。50%以上70%未満)
- D: 未達成(目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。50%未満)
- E: 未実施(事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%)

部(局)名	市民部
-------	-----

重点目標 1	窓口サービスの充実
--------	-----------

今年度の達成目標
マイナンバーカード所有者の転入・転出手続きのワンストップ化を推進します。
今年度の達成目標
死亡後の手続きがワンストップで行える「おくやみコーナー」の利用増加を図ります。

達成状況	達成度
令和5年2月6日から運用を開始し、令和5年3月末までに68件の利用がありました。	A
	達成
達成状況	達成度
おくやみコーナーの利用者が、2日前までの予約としていた1月までは月平均で22.8件でしたが、前日までの予約を可とした2月以降は月平均で37.5件に増加しました。	A
	達成

具体的取組	
転出届の情報の取り込みや転入届にあらかじめ印字等を行えるよう、住民基本台帳システムの改修を行います。	
所管室・課	市民課
具体的取組	
関係各課と協力し、予約期限の短縮など運営方法の見直しを行い、利便性の向上を図ります。	
所管室・課	市民課

具体的な取組実績
住民基本台帳システムの改修を行い、令和5年2月から運用を開始しました。
具体的な取組実績
関係各課と協力して前日までの予約に対応できるよう運営方法の見直しを行い、令和5年2月から実施しました。

総合評価・総括
転入・転出手続きのワンストップ化については、遅滞なく運用を開始することができました。おくやみコーナーについては、予約期限を前日までとすることで利便性が向上し、利用者の増を図ることができました。

全体の達成度
A
達成

今後検討すべきこと
おくやみコーナーについては利用された方から好評を博しており、今後もより多くの方にご利用いただけるよう周知に努めてまいります。

部(局)名	市民部
-------	-----

重点目標 2	部落差別をはじめとする様々な人権課題の解消に向けた周知・啓発の推進、相談体制の充実と平和事業の推進
--------	---

今年度の達成目標
柏原市人権協会や大阪法務局など関係機関との連携および情報を収集し、さらに創意工夫を凝らしながら、様々な差別事象の解消に向けた周知・啓発を実施します。
今年度の達成目標
多岐に渡る様々な事案に対応出来るように関連機関と情報共有を図りながら相談体制を充実させます。

達成状況	達成度
ここ数年、新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの啓発事業が中止になっていましたが、今年度は可能な範囲で再開し、また、啓発活動の一つとして、インターネットを活用した動画配信を行うなど、差別解消に向けた周知・啓発活動を実施しました。	A 達成
達成状況	達成度
新型コロナウイルス感染症の影響による在宅機会が増えるにつれ、様々な相談が増加しましたが、相談者の悩みに十分に傾聴した上で、相談に応じた関連機関と連携するなど、相談体制の充実を図ることができました。	A 達成

具体的取組	
広報誌、市ウェブサイト及び市内公共設備等や各種行事を活用した啓発活動も引き続き行います。	
所管室・課	人権推進課
具体的取組	
相談員や職員を研修などに参加させ対応力の向上を図ります。	
所管室・課	人権推進課

具体的な取組実績
新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、可能な範囲で啓発事業を再開することができました。また、在宅でも講義を受けることができるよう、人権講座動画を作成し、柏原市公式チャンネルを活用して動画配信を行いました。
具体的な取組実績
大阪府人権総合講座人権相談員養成コースや各種研修会へ参加することで、相談員の相談対応力のスキルアップを図りました。また職員研修では人権侵害を受けた当事者を講師に招き、実体験に基づいた講義・研修を実施することにより、職員の人権問題への意識向上を図りました。

総合評価・総括
新型コロナウイルス感染症の影響により中止を余儀なくされていた各種啓発活動を再開し、人権問題に関する啓発活動に取り組むことができました。加えて初めての試みとして、動画配信による啓発活動を実施しました。 また、柏原市民を対象に実施した「人権問題に関する市民意識調査」をふまえ、人権尊重を基本とした社会の実現達成に向けた方針と人権施策の方向性を示した「柏原市人権行政基本方針・推進プラン」を改定しました。

全体の達成度
A
達成

今後検討すべきこと
今年度改定しました「柏原市人権行政基本方針・推進プラン」に基づき、未だ絶えない差別問題について周知・啓発や相談体制の充実を図るなど、差別解消に向けた人権施策の推進に取り組んでいきます。 また、令和6年度に策定を予定している「第4期かしわら男女共同参画プラン」の基礎資料とすることを目的として、「男女共同参画社会づくりに関する市民意識調査」を実施します。

部(局)名	市民部
-------	-----

重点目標 3	安心して暮らせる生活環境の形成【ごみの分別、減量及びリサイクルの促進】
--------	-------------------------------------

今年度の達成目標
拠点回収品目を増やすことにより市民意識調査の「生活環境」、「環境保全」の満足度を前回数値より高めます。



達成状況	達成度
拠点回収品目数は、回収方法、保管場所等の調整が関係部署と継続協議中であり、現状維持ですが、市民意識調査については、「生活環境」、「環境保全」の満足度に関して、合計点が前回6.61点から0.26点増加し6.87点になりました。	A 達成

今年度の達成目標
集団回収による回収量と実施団体数を、前年度より増とすることを目指します。



達成状況	達成度
今年度の実施団体は52団体で、前年より1団体増加しています。また、1回収量を前年と比較しますと今年度は約880トンで、前年より35トン減少しています。	B 概ね達成



具体的取組
水銀による環境汚染を防止するため、水銀使用廃製品について、市内公共施設における拠点回収を実施します。



具体的な取組実績
市民公共施設に回収ボックスを設置し、蛍光灯・乾電池・ボタン電池・水銀温度計・水銀血圧計の回収を実施。今年度は、約4,734kg回収しており、前年度より674kg増加しています。

所管室・課	環境対策課
-------	-------

具体的取組
町会や子ども会などによる新聞紙等の回収事業を拡大します。



具体的な取組実績
今年度の町会や子ども会などリサイクル登録団体は52団体となり、前年度より1団体の増となりました。

所管室・課	環境対策課
-------	-------

総合評価・総括
リサイクル登録団体数は1団体の増となっており、リサイクル活動は拡大していると考えています。また、品目毎の回収量は、雑誌やダンボールは微増となっていますが、アルミ缶は微減となっています。さらに、新聞購読者の減少によって古新聞が減少するといった傾向は続くものと思われます。

全体の達成度
B 概ね達成

今後検討すべきこと
地区によっては、回収拠点が少ない場合もあり、引き続き、一つでも多く拠点を増やすこと、また、リサイクル活動を支援することがごみ減量やリサイクルの促進につながると考えています。

部(局)名	市民部
-------	-----

重点目標 4	女性活躍の応援に向けた民間事業者との連携による人材育成
--------	-----------------------------

今年度の達成目標	達成状況	達成度
自宅で働きたいと思う女性を応援する就労支援策を実施します。	ママITスキルアップ講座を実施したことにより、就労機会を増やすこと、働き方の選択肢を広げてもらうことができました。	A 達成

具体的取組	
ママITスキルアップ講座を実施します。	
所管室・課	産業振興課

具体的な取組実績
動画編集6回、web制作4回、全10回の講座を受講料無料で実施し、講座修了時には簡単な動画編集とweb制作ができるように努めました。

総合評価・総括	全体の達成度
スキルを身に付けることで、講座受講者自身のキャリアプランについて選択肢が広がるとともに、更なるレベルアップへの意欲向上に寄与することができました。	A 達成

今後検討すべきこと
身に付けたスキルを活かす出口が必要となるため、ITスキルを持つ人材を求めている事業者の掘り起しやニーズの把握ができるよう、アンケートの実施などを検討していきます。

部(局)名	市民部
-------	-----

重点目標 5	交流人口・関係人口の増加とおもてなし環境の整備
--------	-------------------------

今年度の達成目標
本市の知名度向上と交流人口・関係人口の増加を図ります。
今年度の達成目標
観光資源の充実とおもてなし環境の整備を図ります。

達成状況	達成度
本課の所管事業に関連して柏原市について新聞記事として24回、テレビ放送で17回、ラジオ放送で2回取り上げていただきました。令和5年1月から開始したプロジェクションマッピングの観覧に、3月末までに5,515人の方に来場していただきました。	A 達成
達成状況	達成度
亀の瀬トンネル内でのプロジェクションマッピングのほか、市役所前大和川河川敷でのイベントの充実等により旅行者に選ばれる機会が確実に増加したほか、Eバイクや案内板により市内を楽しみながら周遊できる環境を整備しました。	A 達成

具体的取組	
日本遺産「龍田古道・亀の瀬」を中心に、本市の地域資源を活用した一般向けモニターツアーおよび観光関連団体や旅行会社、メディア等へのプロモーションを目的としたツアーを開催します。	
所管室・課	にぎわい観光課
具体的取組	
地域資源を活用したアクティビティの開発、プロジェクションマッピング等によるコンテンツの充実に取り組みます。	
所管室・課	にぎわい観光課

具体的な取組実績
日本遺産をPRするために「亀の甲羅」の企画販売を開始し、PR動画を作成しました。一般向けモニターツアーおよびFAMトリップを実施しました。映画やドラマの撮影隊を誘致し、市内施設での撮影を支援しました。日本遺産協議会の事業として、トンネルツーリズムプランナーの花田氏をお招きしてインナーシンポジウムを開催しました。
具体的な取組実績
市内周遊ツアーに供するためのEバイクの整備、亀の瀬トンネル内にプロジェクションマッピング設備を整備しました。大和川川下りの実証実験およびモニターツアーを実施しました。河川空間のオープン化に向けては、市役所前河川敷における社会実験イベントの開催に取り組みました。日本遺産「龍田古道・亀の瀬」のウォーキングルート上に案内板を設置しました。

総合評価・総括
今年度は亀の瀬トンネル内でのプロジェクションマッピングという話題性の高いコンテンツを整備することで、メディアにも数多く採り上げていただきました。これにより亀の瀬の来訪者は飛躍的に増加し、日本遺産「龍田古道・亀の瀬」のストーリーと共に本市の認知向上に繋げることができています。また、河川空間のオープン化に向けての社会実験として開催したイベントでは、市役所前河川敷に大きなにぎわいを創出しており、取組に対する地元の理解を深めることができました。

全体の達成度
A 達成

今後検討すべきこと
亀の瀬に来訪された方の満足度を高め、滞在時間を延ばすための施策を講じるとともに、市域の周遊を促し商圏での消費に繋げる取組が必要な段階であると考えています。また、河川アクティビティやEバイクを活用したツアーの担い手を確保し、安定的にサービス提供を出来る環境づくりについての検討が必要です。

部(局)名	市民部
-------	-----

重点目標 6	防犯対策の推進
--------	---------

今年度の達成目標
自治会・町会設置の防犯灯について、新設・取替合わせて250本以上をLED化します。 また、防犯カメラについては10台以上の新設を推進します。



達成状況	達成度
自治会・町会設置の防犯灯については、新設・取替合わせて、279本をLED化しました。防犯カメラについては、7台の新設に対し補助を行いました。	B 概ね達成

今年度の達成目標
市民意識調査の「防犯体制」満足度を前回数値より高めます。



達成状況	達成度
令和4年度の市民意識調査結果では「防犯」項目の満足度が3.36となり、前年度の3.31より高めることができました。	A 達成



具体的取組
自治会・町会と連携し、LED防犯灯の取替工事を実施するとともに、LED防犯灯及び防犯カメラ新設補助金の積極的な活用を促進します。



具体的な取組実績
LED防犯灯取替工事については、町会・自治会にアンケート調査を行いながら進め、令和4年度で希望する町会・自治会の防犯灯のLED化を概ね完了することができました。 また、防犯灯および防犯カメラの新設補助金については、積極的に活用していただくよう、自治会・町会に対して啓発を行いました。

所管室・課	地域連携支援課
具体的取組	
防犯灯のLED化及び防犯カメラの設置を確実に実施することにより、市民満足度を高めます。	
所管室・課	地域連携支援課



具体的な取組実績
自治会・町会等と連携して防犯灯のLED化及び防犯カメラの設置を着実に進めることにより、安心安全なまちづくりに取り組み、市民満足度の向上につなげることができました。

総合評価・総括
防犯灯のLED化、防犯カメラの設置については、町会・自治会等の地域との連携により取組を進めることができました。その一方で新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、防犯活動や啓発活動などについては、予定通り進められないこともありまし

全体の達成度
B 概ね達成

今後検討すべきこと
防犯カメラの設置については、今後も町会・自治会等に対して補助金制度の積極的な活用を呼び掛けていきます。また、柏原警察署、柏原防犯協会等と連携し、防犯活動や啓発活動等を行い、市民の防犯意識の高揚に努めます。